

お花箱用材料が届きました



黒土 木材



お花の苗

お花箱・ベンチの作成



組み立てる前に、県内産の杉材に全面塗装をしました。材木の腐食防止です。二度塗り、三度塗りを重ね丈夫な物を作りました。お花箱の色は、「グリーン」で植えたお花が映えます。



お花箱の組立開始です。二人一組で、電動工具を使いビスで止めます。約30分でひと箱仕上げました。設置する場所に合わせて作るため、約10日間掛けて46個が完成しました。



お花箱の間に置くベンチを作っています。散歩の途中で、お花箱の横にあるベンチに腰掛けてひと休みできます。段々暖かくなる季節です。外出もきっと楽しくなります。

柿の木台地区「地域緑のまちづくり」イベント予定	
4月	柿の木台「農の歴史」を語る・講師 高橋 清春さん
5月	土づくり講座(2)・講師 阿部 昭雄さん
6月	バケツ田んぼ・ご自宅で稻を育てみましょう

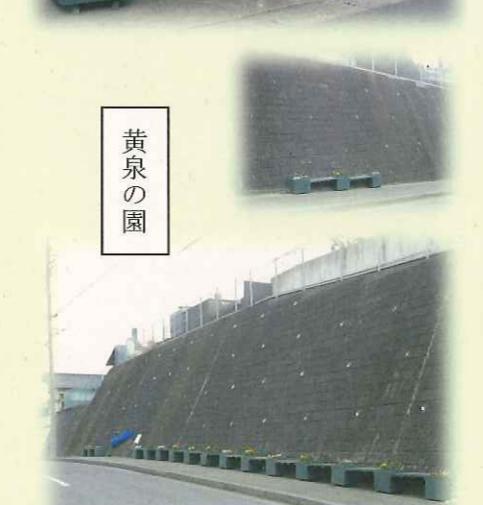
編集後記：3月に産声をあげた「伝心緑」は、短期間で大勢の方の姿を追いかけました。お花箱の作成と設置は、とても重要な作業です。柿の木台町内を草花と緑で笑顔にするボランティアの実働部隊員を募っています。お花箱の設置や活動等については「やもと農塾」までお問い合わせください。

## 活動報告

お花箱を設置しました



柿の木台保育園



# でんしんりょく 伝心緑

## 「柿の木台地区地域緑のまちづくり」

### 設立経過

平成26年9月

「平成26年度横浜市環境創造局『地域緑のまちづくり』に応募」

平成26年

11月 第一次審査合格

〃 柿の木台町内会アンケート実施

12月 第二次審査合格

〃 運営委員会発足

平成27年

1月 横浜市と協定締結

〃 「柿の木台地区地域緑のまちづくり」説明会実施

2月 助成金申請

3月 助成金交付決定



「柿の木台地区地域緑のまちづくり」

発足式は、平成26年12月23日でした。

### ー 設立趣旨 ー

柿の木台の世帯数は2,348戸、人口は5,258人で、65歳以上の方は22.5%（青葉区平均18.2%）で独居暮らしの人も増えています。5年後には4人に一人が高齢者と予想されています。一方、ボランティアに対する理解の深い方も多数住んでおります。『地域緑のまちづくり』は、人間の営みの原点ともいえる『土』を媒体として、花、木をツールにあらゆる年代のよりよいコミュニケーションの構築と健康作りを目指します。また、地域の人々が『歩きたくなるような、歩いて楽しいまち並みの柿の木台』となるように緑化を目指します。具体的には、①堆肥の自作（家庭の生ごみ、街路樹の落葉を利用）を通じて地域の美化活動と自然循環型土づくり②オリジナルお花箱とベンチの製作③当地由来の禪寺丸柿500本の植樹④『大山道』を中心とした散歩道の策定⑤緑化コンクールの実施を目指します。柿の木台町内全体が近隣地域の『心の里山公園』と成る事が最終目的です。

### 柿の木台地区地域緑のまちづくりでは、一緒に手伝ってくださる方を募集しています。

- **お花箱作成**—電動工具を使い、オーダーに合わせて作成してゆきます。工作好き、体力のある方。
  - **緑のご用聞き**—町内では、高齢化にともない庭木の手入れ等が困難になった人の役に立ちたい方。
  - **土づくり**—腐葉土づくり、堆肥づくり（落葉、生ごみ等を使う）で有機栽培に挑戦してみたい方。
  - **散歩道図作成**—柿の木台マップとして調査、研修を経て絵地図制作に興味のある方。
  - **大山道サミットに向けての準備委員**—柿の木台の中に「古道『大山道』」があります。地域の歴史調べ企画運営をしてみたい方（平成29年に開催予定）。
  - **イベントの開催**—チラシ作りや当日の運営ができ、裏方を楽しめる方。
  - **伝心緑の作成**—イラスト、写真、文章をパソコン等で編集作業ができる方。（年2回）
- <お問合せ先> やもと農塾事務局 電話&FAX: 045-971-2064 メール: [calcio-n@kudoh.co.jp](mailto:calcio-n@kudoh.co.jp)

「柿の木台地区地域緑のまちづくり」説明会を1月24日（土）開催しました。



#### 質疑応答（一部抜粋）

- ・一人あたりの負担金は？  
お花箱1個で￥1,500程。この中には、花苗、材料費、土代、ベンチ作成費用が含まれている。
- ・禅寺丸柿は、大木になるが、地植えにするのか？  
地植えも可能。柿の木の剪定や栽培については、専門家の説明を受けてから配布する。接ぎ木のため2~3年で実をつける。農薬はいらない。
- ・自分たちの好きな物を植えても良いのか？  
配布以外のものを寄せ植えにするのは良いが、費用は自己負担となる。
- ・破損や盗難、落書きにあつた場合はどうするのか？  
メンテナンスもやってゆく。



地産地消を目指した県内産の木材を使用して作ったお花箱のサンプルを見ていただき今後の設置場所の参考にしてもらいました。

## アンケート&説明会

### 『地域緑のまちづくり』

（土づくり、人づくり、まちづくり）アンケート実施結果

平成26年11月10日

やまと農塾

柿の木台町内会内の住民に標記についてのアンケートを実施した。

期間：2014年10月25日～11月8日

配布数：105枚

回収数：88枚（回収率83.8%）

『地域緑のまちづくり』のプログラムについては、70%が興味があると回答し関心が高い。また自宅への助成金制度の利用は51%が利用したい意向である。なおアンケートの実施で解ったことは、住民の街の美化運動についての意識の高さである。犬の糞尿、街路樹よりの落ち葉、街路樹周囲及び道路際の雑草の処理や、庭よりはみ出ている樹木の剪定の必要性など日頃の思いがアンケートを通じて表面化してきた。課題で一番多かったのは『お花箱』設置後の管理が挙げられている。『地域緑のまちづくり』を単一のプログラムに終わらせるのではなくこれらの課題も包括した長期緑化プログラムの中の一つに位置づけ将来につなげていきたい。

#### <質問項目別のコメント>

##### 1. 「地域緑のまちづくり」のプログラムについて興味がありますか？

■ある	61	70%
■ない	12	13%
■どちらとも言えない	15	17%
合計	88	100%

##### 2. 興味があると答えた方への質問

###### A. どのような緑化活動に興味がありますか？

■花壇	41	29%
＊自宅のプランターに人気がある。		
■擁壁緑化	19	13%
■土づくり	16	11%
■環境美化	18	13%
■無農薬	20	14%
■講演・講座	28	20%
合計	142	100%

###### B. 自宅での助成制度の採用について興味がありますか？

■ある	33	51%
■ない	14	22%
■どちらとも言えない	18	27%
合計	65	100%

緑化活動には興味があるが自宅での採用となるとその数は1/4に激減する。高齢のために興味はあっても体がついていかない。人がやってくれるのであれば嬉しいが自分でしたくない（又は出来ない）が主な理由と考えられる。

##### 3. 年齢・性別構成

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計	
性別	男性	1	3	7	2	8	10	1	32
別	女性	1	8	13	9	14	10	1	56

\* 説明の後に、参加者へ「緑のまちづくり参加要項」を配布しました。

## 講座報告

### 「メディカルハーブでブレンドティーを楽しむ」

2月19日（木）午後1時30分～3時

ハーブの歴史からはいり、身近な日本の香料についてまで幅広い役立つ話でした。

15種類のハーブには、それぞれの特徴があり効能や利用方法の説明の中で、花粉症の人には「エルダーフラワー、ネトル、ペパーミント」が良いそうです。

不眠症の人には、二つのタイプがあり、普通の不眠には、鎮静作用や緩和作用に優れたハーブを、抑うつには気持ちを明るくさせて不眠を解消するハーブを使用するそうです。また、風邪の症状に効く「エキナセア、エルダーフラワー、ウスベニアオイ」等教えてもらいました。

ハーブティーは、香りと色も楽しめます。心身をリラックスさせる効果の有る、ハーブを生活の中に取り入れて健康を維持しましょう。



「メディカルハーブでブレンドティーを楽しむ」



講師：金田 太朗さん  
メディカルハーブ協会理事

### 「土」づくりを学ぼう

3月22日（日）午後1時30分～3時

「土」には、いろいろな土があり基本用土は、「排水性」「通気性」「保水力」「保肥力」の特徴があります。それに改良土や調整土をブレンドして庭木用作物用を作ることや腐葉土の作り方を学びました。

普段、庭などに生えた雑草は早めに引き抜きますが、自然と生えている場所の雑草を観察することでその土質知る事ができます。

今回は、柿の木台の由来である「禅寺丸柿」を植えるための柿の育て方について詳しい説明がありました。一般に柿の木は高木になるとされていますが、家庭の庭先で低木に育てる方法について、剪定方法、整枝、病害対策等も話してもらいました。

春先の花や植木の手入れが始まります。阿部さんには、季節の変わり目ごとに実習を混ぜた講座をやっていただきます。どうぞ、御期待下さい。



### 「土」づくりを学ぼう



講師：阿部 昭雄さん  
樹医博士  
鳴居原市民の森愛護会 会長

\* 2、3月の講座は、講師の都合により入れ替えとなりました。